

## 1 議 事 日 程

[令和2年太宰府市議会第3回（7月）臨時会]

令和2年7月14日

午後1時開議

於 議 事 室

- 日程第1 会議録署名議員の指名  
日程第2 会期の決定  
日程第3 議案第42号 令和2年度太宰府市一般会計補正予算（第5号）について  
日程第4 議案第43号 令和2年度太宰府市水道事業会計補正予算（第1号）について  
日程第5 議案第44号 令和2年度太宰府市下水道事業会計補正予算（第1号）について

## 2 出席議員は次のとおりである（18名）

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1番 柳原 莊一郎 議員  | 2番 宮原 伸一 議員  |
| 3番 船越 隆之 議員   | 4番 徳永 洋介 議員  |
| 5番 笠利 毅 議員    | 6番 堺 剛 議員    |
| 7番 入江 寿 議員    | 8番 木村 彰人 議員  |
| 9番 小畠 真由美 議員  | 10番 上 疆 議員   |
| 11番 原田 久美子 議員 | 12番 神武 綾 議員  |
| 13番 長谷川 公成 議員 | 14番 藤井 雅之 議員 |
| 15番 門田 直樹 議員  | 16番 橋本 健 議員  |
| 17番 村山 弘行 議員  | 18番 陶山 良尚 議員 |

## 3 欠席議員は次のとおりである

なし

## 4 会議録署名議員

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 11番 原田 久美子 議員 | 12番 神武 綾 議員 |
|---------------|-------------|

## 5 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名（14名）

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| 市長 楠田 大蔵                 | 副市長 清水 圭輔                               |
| 教育長 樋田 京子                | 総務部長 山浦 剛志                              |
| 総務部理事 五味 俊太郎             | 市民生活部長 濱本 泰裕                            |
| 都市整備部長 高原 清              | 公営企業担当部長<br>兼上下水道課長 百田 繁俊               |
| 観光経済部長<br>兼国際・交流課長 吉開 恭一 | 観光経済部理事<br>(V字回復担当) 東谷 正文               |
| 健康福祉部長 友田 浩              | 健康福祉部理事<br>兼高齢者支援課長<br>兼包括支援センター所長 田中 縁 |
| 教育部長 菊武 良一               | 教育部理事 堀 浩二                              |

## 6 職務のため議事室に出席した事務局職員の職氏名（5名）

- |              |            |
|--------------|------------|
| 議会事務局長 阿部 宏亮 | 議事課長 花田 善祐 |
|--------------|------------|

書 記 齊 藤 正 弘  
書 記 平 田 良 富

書 記 岡 本 和 大

開会 午後1時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（陶山良尚議員） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は18名です。

定足数に達しておりますので、令和2年太宰府市議会第3回臨時会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

議事日程は、お手元に配付しているとおりです。

議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（陶山良尚議員） 日程第1、「会議録署名議員の指名」を行います。

今回の会議録署名議員は、会議規則第87条の規定により、

11番、原田久美子議員

12番、神武 綾議員

を指名します。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第2 会期の決定

○議長（陶山良尚議員） 日程第2、「会期の決定」を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日間にしたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日間とすることに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第3から日程第5まで一括上程

○議長（陶山良尚議員） お諮りします。

日程第3、議案第42号「令和2年度太宰府市一般会計補正予算（第5号）について」から日程第5、議案第44号「令和2年度太宰府市下水道事業会計補正予算（第1号）について」までを一括議題にしたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長 楠田大蔵 登壇〕

○市長（楠田大蔵） 皆様、こんにちは。

本日、令和2年太宰府市議会第3回臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、大変ご多忙の中、ご参集をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。新型コロナウイルスの影響が今なお続く中、可能な限り迅速かつ効果的に対応するため、3月議会以降毎月の招集となっておりますが、ご理解、ご協力賜りまして誠にありがとうございます。

改めまして、議員各位、市民の皆様におかれましては、これまで長きにわたり本市新型コロナウイルス対策に多大なるご理解とご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。おかげさまで本市の感染者は今なお3名にとどまっておりますが、筑紫管内でもここ数日新たな感染者が判明し、県内や全国的にも増加傾向といえ、今なお予断を許しません。今後も新しい生活様式を取り入れるなどの対策をおとりいただきながら、市といたしましても効果的な安心創出策や生活支援、経済対策などを断行してまいりたいと考えております。

さて、本市の観光客数は4月、5月とも96%減と壊滅的な数字でありました。先月、全国的に県をまたぐ移動の制限は解除されましたが、まだまだ戻り切れていない状況であります。そうした事態を受け、先日太宰府天満宮、観光協会、商工会、国立博物館、そして本市で構成する太宰府ブランド創造協議会の代表者が一堂に会し、今後の緊密な連携を確認いたしました。その際、ウイズコロナ、アフターコロナの太宰府観光、経済のV字回復に向けた共通の方向性について議論を行い、プレミアム商品券についても強い要望が出されたところであります。また、事業者にとどまらない老若男女あらゆる市民の方々への生活支援の要望もかねがねいただいております。8月猛暑期における上下水道基本料金の全世帯減免も講じたところであります。

さらには、これまでの累次の対策でも行き届いていない方々への対応として、届け出保育園への支援を今回新たにBeautiful Harmony事業の一環として提案をいたしております。そのほかにつきましても、国、県や他自治体、民間企業などと引き続き緊密な連携や役割分担を行い、今後も可能な限り機動的、効果的な対策の実行に努めてまいります。

また、新型コロナウイルス対策以外の諸施策も着実に実行に移しております。まず、私のかねてよりの肝いりの公約の一つでありました念願の民間企業との人事交流であります。7月1日から、九州電力株式会社の東谷正文さんを本市の観光経済部理事として受け入れ、本市からは佐々木博基主任主事を先方に送り出しました。2年間の予定であります。国、県や一流企業と双方向で交流を行うことで、受け入れた人材の本市での活躍はもちろん、出向した職員が戻った後に末永く本市のために頑張ってくれると確信をしております。

また、同時に、就職氷河期世代向けに採用を行った6名が難関を越え新たに入庁いたしました。さまざまな社会経験や世代ならではの挫折も味わったたくましい人材ぞろいだと考えております。これにより、私を初め、副市長、教育長、2人の理事、そして就職氷河期世代採用の職員と10名を超える外部出身の人材が本市の職員に仲間入りすることとなりました。生え抜きと外部出身の人材が力を合わせ、よい伝統は受け継ぎ、変革すべき体質は改めることで、より市民のための、そして時代にマッチした市役所へと進化できると確信をしております。

また、長く停滞する梅雨前線による大雨の対応にも日夜職員挙げて最善を尽くしておりま

す。現時点で目立った被害はございませんが、引き続き警戒を強めてまいります。これまでも、災害警戒本部や対策本部会議を随時開催し、迅速かつ的確な情報収集や危険地域における効果的な避難所の開設と避難誘導などに努めてまいりました。まだまだ予断を許さない、豪雨災害対応と新型コロナウイルス対策をあわせて行うという初めての経験ではありますが、持つ力を出し尽くしてまいります。

さて、本日もご提案申し上げます案件は、補正予算3件の議案のご審議をお願い申し上げますのであります。

それでは、提案理由の説明を申し上げます。

議案第42号から議案第44号までを一括してご説明申し上げます。

最初に、議案第42号「令和2年度太宰府市一般会計補正予算（第5号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、歳入歳出をそれぞれ3億8,168万9,000円増額し、予算総額を337億2,233万6,000円にお願いするものであります。

主な内容といたしましては、新型コロナウイルスの影響で落ち込んでいる市民の皆様の消費喚起と傷ついた地域経済のV字回復のために実施するプレミアム付き地域商品券事業に要する費用、市民の皆様お一人お一人の生活の下支えのため、1カ月分の水道基本料金、下水道基本使用料を減免するための費用、本市の保育行政の一翼を担う届け出保育施設に対して対策を講じるための経費を補助する費用を計上させていただいております。そのほかには、国の全額補助を受けて実施しますひとり親世帯臨時特別給付金に要する費用、小・中学校の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じるための物品等の購入や支援員などを配置するための費用、放課後児童健全育成事業等及び保育所等に対して対策を講じるための経費を補助する費用などを計上させていただいております。

次に、議案第43号「令和2年度太宰府市水道事業会計補正予算（第1号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正は、収益的収入で49万5,000円増額し、総額14億2,094万8,000円とし、収益的支出で同額の49万5,000円増額し、総額12億8,542万9,000円とするものであります。

補正の内容といたしましては、新型コロナウイルスの影響に苦しむ市民の皆様お一人お一人への生活支援として、8月請求分の水道料金の基本料金に関して減免を行うことに伴い、水道料金を2,651万円減額し、システム改修のため料金調定システム電子計算機等改修委託料を49万5,000円増額し、これらの増減を合わせて一般会計から2,700万5,000円補助を受けるものであります。

次に、議案第44号「令和2年度太宰府市下水道事業会計補正予算（第1号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正は、収益的収入で営業収益を2,570万7,000円減額し、営業外収益を同額の2,570万7,000円増額するものであります。

補正の内容といたしましては、新型コロナウイルスの影響に苦しむ市民の皆様お一人お一人への生活支援として、8月請求分の下水道使用料の基本使用料に関して減免を行うことに伴い、下水道使用料を2,570万7,000円減額し、同額を一般会計から補助を受けるものであります。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（陶山良尚議員） 説明は終わりました。

ここで暫時休憩いたします。

休憩 午後1時09分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後3時14分

○議長（陶山良尚議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

お諮りします。

議案第42号から議案第44号までは委員会付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） 異議なしと認め、委員会付託を省略します。

直ちに質疑を行います。

議案第42号について通告がっておりますので、これを許可します。

5番笠利毅議員。

○5番（笠利 毅議員） 議案第42号「太宰府市補正予算（第5号）について」伺います。

プレミアム付き商品券発行の補助事業についてですが、本市の事業が比較的到高率で高額、巨額なものであることから、3点、3段階にわたって伺います。

1つ、事業規模を拡大することによる効果の試算を行っているか。

2つ、試算を行ったのであれば、どのような指標にいつごろ、どれぐらいの効果を見込んでいるのか。

3点目、その試算に当たり、例えばプレミアム率20%商品券発行額3億円といった異なる条件での発行との比較を行ったのであれば、どのような比較を行ったかという内容と、その比較の結果というものを伺います。

○議長（陶山良尚議員） 観光経済部長。

○観光経済部長（吉開恭一） ただいま笠利議員よりプレミアム付き商品券発行事業についてご質問がありましたので、私からご回答を申し上げます。

議員ご指摘のような直接的な試算というものはなかなか難しいところではありますが、商工会並びに観光協会が業種ごとの会員数や売上減少額、消費者のマインド、会員の方々からのアンケート調査などに基づき現場に即した独自の分析を行い、総合的に勘案して提出された要望書の内容を大きな根拠としております。

今回の事業は、新型コロナウイルスの深刻な影響を受けた地域経済において、市民生活の下支え、消費の喚起、さらに全国随一とも言える減少幅の観光客の誘客の促進といった非常事態における多様な目的を持つことから、30%のプレミアム率という通常よりも高い設定を行うことでよりインパクトのある、魅力のある事業主体という思いは商工会、観光協会とも一致しているところであります。また、事業の規模につきましては、キャッシュレス商品券の導入などの新たな取り組みにより、市外在住者、とりわけ観光都市として本市を訪れる観光客の皆さんに購入していただきたいということ、一方では、先ほど申しあげました市民生活の下支えという観点から、可能な限り市民の皆さんにも商品券が行き届くようにしたいという考えもあり、販売額5億円に落ちついたところであります。

なお、実施主体であります商工会におきましては、今回の事業を成功させるべく、取扱店舗の拡大や各種キャンペーンの実施など、組織を挙げて取り組んでいただいているところであります。

私からの回答は以上でございます。

○議長（陶山良尚議員） 再質疑はありませんか。

5 番 笠利毅議員。

○5 番（笠利 毅議員） 一言で言うと、独自の総合的な判断がなされたというふうに聞いてしまっていますが、あえて今回この点について議場で聞いたのは、大きな予算を動かすので、総合的な判断の前に何かしらの分析が行われていることを期待して聞かせていただきました。今のこの回答だと恐らくこれ以上聞きようがないんですが、希望だけ述べておきますが、今後やはり急にお金を使うことがどんどん増える時期にあると思うので、質問にしましょうね。さまざまな事業決定、予算支出の施策を決定するに当たり、総合的な判断を行う前に、可能な限り分析的な数字を求めていくということは今後考えていくつもりがあるのかどうか伺っておきたいと思っております。

○議長（陶山良尚議員） 観光経済部長。

○観光経済部長（吉開恭一） 今回の事業決定に当たりましては、先ほど来から説明させていただいておりますように、商工会それから観光協会さんの要望もございましたし、それから私どももさまざま打ち合わせ等をさせていただく中で、他市よりもかなり厚い施策にはなっておりますけれども、販売額等もかなり高額であるということで、そういったインパクトのある施策を打つ必要があるのかなという判断をさせていただいたところでございます。議員がおっしゃるように、大きな予算を使うということで、事前にそういった分析をすべきではないかということにつきましては、今後の事業を検討していく際には私どものほうで判断をするためにそういう分析も重ねていきたいというように考えております。

以上でございます。

○議長（陶山良尚議員） 笠利議員に申し上げますが、先ほど自分の考えを述べましたけれども、これは一般質問ではございませんのでよろしくお願ひしたいと思っております。

再々質疑はありませんか。

(5番笠利 毅議員「結構です」と呼ぶ)

○議長(陶山良尚議員) これで、議案第42号について質疑を終わります。

次に、議案第43号及び議案第44号について、ただいまのところ通告がありませんので、質疑なしと認めます。

これから討論、採決を行います。

議案第42号「令和2年度太宰府市一般会計補正予算(第5号)について」討論を行います。通告があつていきますので、これを許可します。

12番神武綾議員。

○12番(神武 綾議員) 「令和2年度太宰府市一般会計補正予算(第5号)について」賛成の立場で討論いたします。

今回の補正予算で国からコロナ感染症対策地方創生臨時交付金、またひとり親世帯臨時特別給付金、学校保健対策支援対策事業費等が交付され、経済的に厳しくなつたひとり親世帯への給付、また感染症対策指導や除菌作業に携わつてある小・中学校の教員の皆さんには大変助かる支援になつたものと思います。この補正予算について、気になる点が1つあります。コロナ感染症対策地方創生臨時交付金についてです。

今回の第2次分の交付の一部と6月議会での第1次分と合わせて合計5億348万5,000円となりました。この臨時交付金の歳出の事業配布内容を見ますと、地元中小業者の事業継続支援として4億2,300万円、これは4月に計上されたがんばろう令和支援金3億2,300万円と今回のプレミアム商品券1億円の合計額、これで全体の8割、83%を占めています。さらに、小・中学生分として、教材送付と図書カードで2,640万円の約5%、生活支援としての上下水道の基本料金引き下げで5,271万2,000円、約10%という構成になっています。この臨時交付金は、コロナ感染症対策と感染拡大の影響を受けている地域経済や市民生活にきめ細やかな事業を実施するものと説明されてきました。観光の町太宰府という地域性に鑑みれば、地域経済支援に配分されていることに反対するものではありません。財政調整基金を取り崩してでも進めるべきものだと思っています。けれども、今回の臨時交付金の使い道として全体の割合から見て偏つていのではないかと考えます。第2次分の残りが3億5,614万3,000円があるというふうに聞いています。臨時交付金のもう一つの目的である市民生活にきめ細やかな事業で手薄であつた子育て世帯への給食費の免除やプレミアム付き商品券の配布、また特別給付金対象外の新生児への給付金支給など、このコロナ禍の中で太宰府市民の皆さんが本当に助かつた、精神的に安心して暮らせるような支援を今後進めていただくことを切に要望いたします。

以上をもって提案されました「一般会計補正予算(第5号)について」同会派の藤井雅之議員とともに賛成といたします。

○議長(陶山良尚議員) 次に、5番笠利毅議員。

○5番(笠利 毅議員) 賛成の立場で討論をいたします。

コロナ対策は時間をかけて取り組んで行かなければならないことになると思うので、やはり市としても大切なのは考え方をしっかり持つておく必要はあろうかと思えます。無論、試行錯誤というのはあろうかと思えますけれども、そのことを言っておいた上で一言だけ述べておきたいと思えます。

さまざまな対策を太宰府市は太宰府市なりにこつこつと打っており、そのことは評価しておきたいと思えます。これからも続けていただきたい。ただ、コロナ対策といえますか。コロナの感染症の広がりには日本の国民に等しく影響を及ぼすところがあるかと思えますけれども、したがって政策は全ての人に、先ほど部長の言葉をかりれば、行き渡るようにということを常に考えてほしいと思っております。ただし、等しく影響が及んだ場合には、立場が苦しい人により大きく作用するというのも間違いないことだと思えます。精神科医として知られている香山リカさんが、このようなことを先日述べておりました。日本人は、この時期に当たっても私を助けてというよりも困っている人を助けてあげてという人が多いということです。ただし、彼女が言うには、でももっと私を助けてと言ったほうがいいのではないかと。本当に困っている人は往々にして自分を助けてくださいというふうに言う機会が少ないことが多いので、コロナ対策、今後もずっと通じて、市としては、自分では声を上げられない人々に市の施策を届けるということを常に念頭に置いていただきたいと思えます。

一つだけ言えば、プレミアム商品券の発行に反対はしないのですが、他市ではプレミアム商品券の発行にあわせて低所得層への商品券の配布といったものを組み合わせられているというところもあります。私は心情的にはそうした選択肢のほうがしっくりくると。これからも続くコロナ対策の中で、今後の太宰府市がますます苦しい人にしっかりと目を向けた知恵を絞り続けてくれることを期待して、賛成討論にかえたいと思えます。

○議長（陶山良尚議員） 次に、8番木村彰人議員。

○8番（木村彰人議員） 賛成の立場で討論します。

太宰府市商工会が実施した緊急経営実態調査第2回の集計結果を拝見しました。新型コロナウイルス感染症対策の参考になると思えますので、商工会会員の皆さんのご意見、ご要望の中で特に多く寄せられたもの、自分が気になったご意見を3つほどご紹介します。

まず1点目、家賃補助を求めるとご意見が多数。事業者の皆さんにとって家賃を含む固定費の負担が大きいことが推察されます。今回の補正予算においては、まさに固定費の部分である水道料金、下水道使用料の減免予算が計上されておりました。願わくば、減免対象と減免期間にもう一步踏み込んだ事業設計が必要ではなかったかと思えます。

次に2点目、持続化給付金や特別定額給付金の追加給付を求めるとご意見が多数。新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況であり、追加給付の見込みも示されない状況ではなおいとしよう。国、県への要望を継続的に行うとともに、本市独自の施策であるがんばろう令和支援金の追加給付も視野に、これから準備したいところです。

最後に3点目、今後必要と思われる経済対策として、プレミアム付き商品券の発行に期待を

寄せる会員の割合が18.4%と案外低いこと。この結果は、これまで行われてきたプレミアム付き商品券の事業効果を踏まえての回答でしょう。今回はプレミアム率が30%ということもあり、その事業効果を大いに期待したいところですが、市の負担額が1億円と破格であり、臨時交付金総額の約40%を占めているというのは臨時交付金の使途、使い道のバランスを考えるとやや偏っているようにも感じました。今後の感染症対策は、感染拡大の第2波に備えつつも経済活動を回復する段階に移ります。使い方の自由度が高い地方創生臨時交付金ですので、今後の実施計画の変更も想定内に、効果的な臨時交付金の活用を切にお願いして、私の賛成討論とします。

以上です。

○議長（陶山良尚議員） ほかに討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第42号を原案可決することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（陶山良尚議員） 全員起立です。

よって、議案第42号は原案のとおり可決されました。

〈原案可決 賛成17名、反対0名 午後3時29分〉

○議長（陶山良尚議員） 次に、議案第43号「令和2年度太宰府市水道事業会計補正予算（第1号）について」討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第43号を原案可決することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（陶山良尚議員） 全員起立です。

よって、議案第43号は原案のとおり可決されました。

〈原案可決 賛成17名、反対0名 午後3時30分〉

○議長（陶山良尚議員） 次に、議案第44号「令和2年度太宰府市下水道事業会計補正予算（第1号）について」討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第44号を原案可決することに賛成の方は起立願います。

(全員起立)

○議長(陶山良尚議員) 全員起立です。

よって、議案第44号は原案のとおり可決されました。

〈原案可決 賛成17名、反対0名 午後3時30分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長(陶山良尚議員) 以上で本臨時会に付議されました案件の審議は全て終了しました。

お諮りします。

本臨時会において議決されました案件について、各条項、字句、その他の整理を要するものにつきましては、会議規則第42条の規定により、その整理を議長に委任願いたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(陶山良尚議員) 異議なしと認め、お諮りしたとおり決定しました。

これをもちまして令和2年太宰府市議会第3回臨時会を閉会したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(陶山良尚議員) 異議なしと認めます。

よって、令和2年太宰府市議会第3回臨時会を閉会いたします。

閉会 午後3時31分

~~~~~ ○ ~~~~~

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

令和2年11月17日

太宰府市議会議長 陶 山 良 尚

会議録署名議員 原 田 久美子

会議録署名議員 神 武 綾